

より良い有田市をめざして ～笑顔の贈り物～

「ツバメが低く飛ぶと雨」と言われます。これは大気中の水分が多くなると、餌となる蚊の羽も水分を含み低空飛行となるのが由来となっています。ツバメは、春になると東南アジアから飛来し、初夏までに産卵をするので、梅雨空のもと、今まさしく子育てに忙しく飛び回っています。

先月、子育て支援活動の一環として、民と官が連携したスマイルベビーギフト事業をスタートさせました。(株)F・O・インターナショナルとの連携協定に基づき、同社から寄付された子ども用の衣類や靴などをギフトボックスに詰め、赤ちゃんが生まれたご家庭にプレゼントをするというものです。

北欧のフィンランドでは、政府から母親になる女性全員にベビー用のグッズ一式が贈られるそうです。子育てはその家族だけの問題ではなく、地域の宝物として、社会が一緒になってそれぞれの立場で共有していく

ことで、親御さんたちの笑顔にも繋がっていくのではないのでしょうか。

渡り鳥としての本能からツバメは、色々な環境を察知し、風通しが良くて外敵から身を守ることができる場所を選ぶことで、居心地の良い環境に巣づくりをします。人口減少や少子化への対策がどこの自治体においても課題とされているなかで、人口減少対策と子育て支援を同じ目線で考えるのではなく、子どもを産み、育てることが、素敵で尊いことであると感じることのできる社会環境が重要だと思います。

本市におきましても、より一層の子育てに適した環境づくりを推進し、やがて子どもたちが巣立ち、力強く旅立っていく日を楽しみにしています。

有田市長 望月 良男



第40回 紀文まつり

8月10日(土)

予備日：7日(日)

花火

20時20分～
(有田山阿山敷)

主催 紀文まつり実行委員会

問 産業振興課 TEL 22-3624

広告 市収入の一部とするため有料広告を掲載しています。

より良い広報づくりのため、皆様のご意見ご要望を秘書広報課へお寄せください。



この広報紙は地球環境保護のために、再生紙と植物油インキを使用しています。